

令和7年10月29日

登米市議会議長 中澤 宏 様

岩渕 正弘

調 査 報 告 書

調査の概要は次のとおりであります。

記

1. 調査目的

人口減少時代に必要な議員の役割については、人口減少がもたらす地域経済の縮小、労働力不足、福祉・医療の担い手不足、インフラ維持の困難化など地域の課題や問題点を正しく理解する必要がある。

研修を通し、議員活動に直結する政策提案力と地域課題解決に向けた手法を学ぶもの。

2. 調査先

地方議員研修会（東京研修：リファレンス西新宿大京ビル）

3. 調査日 令和7年10月20日（月）

4. 調査者氏名 1名 岩渕 正弘

5. 所 感

①効果的な質問の作り方～議員の見え方と働き方

研修を通じ、効果的な質問は知識量ではなく、目的意識と構成力で決まると気づかされた。現状認識、課題解決を求める対応を整理した質問は、行政の答弁を具体化し、議論を前進させる。議員の見え方は発言だけでなく、傾聴姿勢や事前準備の丁寧さに表れる。また、質問後に進捗確認や再提案を行う動き方が、本気度と信頼を高める重要な要素であると実感した。

②人口減少時代の自治体運営

人口減少時代の自治体経営においては、拡大を前提とした従来型の行政運営を見直し、限られた人・財源で成果を最大化する発想への転換が不可欠であると本研修を通じて感じた。施設整備ありきではなく、施策の効果や持続性を重視し、

既存資源の有効活用や選択と集中を進めることが重要である。議員として、中長
期的視点に立ち、経営感覚を持って政策判断を行う責任を改めて認識した。

「前副市長」で「元議員」が教える

人口減少時代の 議員活動スキルアップ研修

東京 / 博多 ご案内

東京
2025

10.20(月)

博多

11.17(月)



講師

和泉市前副市長
元高槻市議会議員

吉田 康人

〔略歴〕昭和63年一橋大学卒業
東京電力に勤務後、参議院議員秘書を経て
平成11年から高槻市議会議員
平成24年から大阪市住吉区長
平成29年から大阪市大正区長
令和3年から令和7年和泉市副市長

東京電力本社広報部や海外電力調査会研究員を経て、高槻市議会議員を務める。
自治体経営・政策形成の現場と理論の双方に精通し、大阪市では住吉区・大正区の
区長として地域行政改革を推進。直近では和泉市副市長として市政全般を統括。
豊富な現場経験と実践的な視点から、議員活動に直結する政策提案力と地域課題
解決の手法を伝える。



10:00 ▶ 12:30

効果的な質問の作り方～ 議員の見え方と、動き方

- ・副市長・幹部職員の頭の中と議会の関わり
- ・役所と議会の仕組みを曖昧に理解しているのでは？
- ・質問がでたら役所では何をしているか
- ・どんな質問に執行部は唸るのか
- ・質問の前後での効果的な動き方
- ・勿体無い質問の事例と改善案

13:30 ▶ 16:00

人口減少時代の自治体経営 大阪市や和泉市で取り組んだこと

- ・和泉市での職員採用の改革
- ・人事給与制度改革のすすめ
- ・大阪市での住民ニーズ把握の手法
- ・「地域医療・福祉」から「ウェルビーイングの最大化」へ
- ・教育改革と学力向上
- ・全国的な自治体経営の課題とツッコミどころ
- ・人口減少時代に必要な議員の役割